

新宿区立余丁町小学校

令和 7 年 4 月
通 算 4 3 2 号

余丁校通信



4月の生活目標

気持ちのよいあいさつをしよう

令和7年度、はじまる。

校長 佐藤 郁子

ご入学、ご進級おめでとうございます。

中学校の卒業式では、雪の花びらが舞い、小学校では麗らかな日差しが溢れる別れの季節となりました。

そして、4月。余丁町小学校は新たに56名の1年生を迎え、全13学級（わかまつ学級1学級）、346名での出発です。

4月は出会いの季節です。その出会いをとおして、人は様々な出来事を経験し、自分の中での考えを深めることができます。

しかし、ただ流されるままに経験するよりも、「こうやってみたら、どうだろうか」「あのやり方でやってみよう」等、自分で意識して、物事にかかわる方が経験値の高まりが違うように思います。

意識しないものに
おもしろいものが
勝手にやってくることはない。
おもしろい光景を
おもしろいものにするのは
その人の意識である。

精神科医、小説家等多くの顔をもつ和田秀樹氏の著書の文章です。

文部科学省の調査によると令和5年度の不登校の人数は、小・中学校とも過去最多となりました。小学校においては、1000人当たり約21人が不登校という出現率でした。

その要因は、いじめ（1.8%）、いじめを除く友人関係（11.5%）を大きく上回り、1位は「やる気がでない」（32.2%）、2位「生活リズムの不調」（24.5%）、3位「不安・抑うつ」（22.7%）でした。

子どもたちは新年度に向け、期待を膨らませています。そのやる気を更に、伸ばしていけるよう本年度も教職員一同、邁進したいと思います。

地域・保護者の皆様には引き続き、温かく見守っていただければと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。